

キ ャ ラ バ ン 隊 出 発 式

～ あいざつ ～



令和7年7月28日 8:50～

於：宮崎県庁講堂

北方領土返還要求宮崎県民会議

会長 猪 野 滋

おはようございます。

本日は、朝早くから出発式にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

宮崎県副知事佐藤様、宮崎県議会副議長日高様、宮崎県教育委員会教育長吉村様をはじめ、県職員の皆様方にお集まりいただき、今年も出発式を開催できることを心からうれしく思います。

戦後80年を迎えようとしている今年、あの戦争によって尊い命を失い、生きたくても生きることができなかった多くの方々の犠牲の上に今生かされている私たちがいるという現実。

また、あの戦争によって人生の歯車が狂い始めて、今もしんどうい想いをしている人がいるという現実。

そして、しんどうい想いをしている方々のなかに、北方四島の元島民の方々がおられます。

今年の5月21日の朝日新聞の全国版に北方領土問題に取り組んでいる宮崎第一中学高等学校のサークル「TEAM HOKKEN」が紹介されました。

その記事の中で、本年3月に卒業した初代メンバーの一人松村さんがインタビューに次のように答えています。

「これは日本の問題。同世代で活動する高校生を知って、私も力になりたい、根室で完結させてはいけないと思った」

また、現在活動している中学3年生の清水さんが次のように述べています。

「関心を持ちにくい遠い地方から考えることに意味があると思う」

この二人が述べているとおり、北方領土の問題は人間の尊厳にかかる問題であるとともに、主権を有する私たち国民の問題でもあります。

私たち北方領土返還要求宮崎県民会議は、「北方領土に幸せを！」というスローガンを掲げ、これまで一人でも多くの県民の方々に、元島民に寄り添い、北方領土問題に関心を持っていただけるよう取り組んでおります。

そんな想いを大切に、今年も今日明日の二日間、各市町を訪問させていただこうと思っております。

最後になりましたが、今回はじめてキャラバン隊に三名の高校生が自主的に参加してくれました。

先日本県で開催された九州・沖縄ブロック会議においても各県の県民会議の方々と一緒にグループディスカッションに参加してくれました。

また、いろいろなイベントにボランティアで参加してくれるジュニアリーダーの中学生や高校生もおります。

このように、本県におきましては、私たちとともに、北方領土問題に自分ごととして感じ、考え、行動する若い力の存在が私たちの大きな励みとなっております。

これからもあらゆる世代の方々を巻き込みながら、地道に取組を推進してまいり所存でございます。

今後ともどうぞご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。